

# 守ろう！自然・風土・次世代のために

ごもう

御馬環境保全クラブ

---

## \*御馬地区概要

本地域は、山口県の中央部佐波川の上流部に位置し、船路岳の山麓に広がる扇状の中央部にあり、佐波川の恵みを受け水田地帯が広がっている。

本地域の周辺では、奈良東大寺再建の命を受け、東大寺大勧進俊乗房重源上人が建材を奈良に送るために作った、国指定史蹟でもある関水(僧取り淵の下流にある)などがあります。

## \*活動内容

当地区は平成17年度に圃場整備事業を完了した地域です。現在は高齢化、過疎化が進み農業生産条件や生活条件が厳しくなりつつありますが、水田、農地を主体に保全管理をそれぞれ連携し行っています。御馬周辺における生態系保全計画の中でメダカの放流なども行い農村環境向上活動を実施しています。

## \*効果

多様化のなか、地域全体で環境を守って行こうとする意識や、農村環境への関心、意識の向上がみられます。

\*今後、この対策を有効活用することにより安心、安全な環境づくりを継続できればいいとおもいます。



# 耕作放棄地の解消と共同活動

組織名 きしみとくぎょうほぜんかい  
岸見徳行保全会

位置： 山口市徳地岸見 対象面積： 7 ha

## ◆ 地域の現状等

土地保有非農業者の現住する地域であり、少子高齢化地域である。

## ◆ 活動内容等

非農業者との水路保全を主体とする共同活動を重点にする。

## ◆ 効果

地域のまとまりにより農道等の保全が確保でき共同活動の計画が立案でき又集会等に参加率が向上した。

農業者の集会が持てる（開催）ようになった。

（兼業化の中で参加率向上と集会数の増加）

## ◆ 将来の展望

農用地の耕作放棄地の解消に努めたい。



# 『小集落の結集』で盛り立てよう地域保全！

組織名 しもはたほぜんかい  
下畑保全会

位置：山口市徳地下畑 対象面積：8.13 h a

## ◆地域の現状

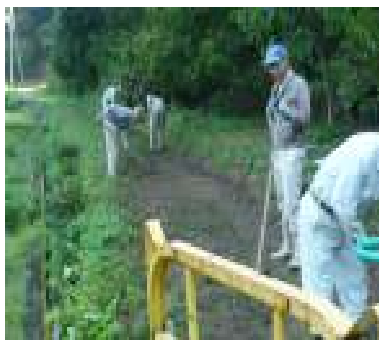
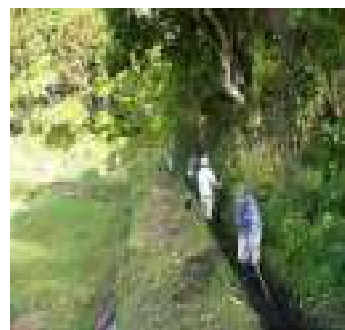
当地区は、16世帯の少集落であり高齢化・過疎化が進み、限界集落に近く深刻な状況となっています。そこで向上対策を利用して、農家・非農家が連携を取りながら地域保全に取り組んでいます。

## ◆活動内容等

水路の泥上げや農道の草刈り、開水路・農道の補修、井出の水門の流木除去等を実施してます。また、水田・畑の農作物を守るため獣鳥害対策として猪電気柵の設置、ここ半年前から猿が出没し始め猿被害対策として集落上げて花火投火を実施し、集落の環境向上活動に努めています。

## ◆効果

最初は農家みの参加となっていました。水路の泥上げ、猪・猿対策・コスモス・菜の花の景観づくり等では非農家を含め集落全体で取り組むようになり、住民の意識はかなり向上してきた。



## ◆将来の展望

今後この対策を展開していく為には、本対策を活用して開水路の泥上げ等を定期的実施するとともに後継者不足が発生する事から耕作放棄地解消対策が急務である。

また、白井出水路系を主体に他集落と連携し活動を一体化する事だと思います。



# 「共助・共栄」で自然豊かな故里づくりを！

ふなぢちゅうおうほぜんかい

組織名 船路中央保全会

位置： 山口市徳地船路609番地 対象面積： 5.83ha

## ◆地域の現状

当地区は、小規模な兼業農家が多い地域で、将来の高齢化を見据え平成12年3月に担い手育成型の県営ほ場整備事業を完了させ農地を守ってきました。最近では若者の定住が見られず高齢化過疎化が進み深刻な問題でした。そこで、平成19年度よりこの対策を利用して、農家・非農家と連携し、地域の環境保全に取り組んでいます。

## ◆活動内容等

ほ場整備事業の担い手2名と他の農業者を中心に佐波川水系支流奥河内川の河川及び水路・農地の管理を行っています。また、構成員、自治会が地域の環境・美化を守るため、農村環境向上活動を実施しています。

## ◆効果

最初は、高齢化のため役員主導の活動でしたが、年度を重ねるごとに、地域の環境は自分たちで守ろうとの意識が高まり、花壇の清掃や自治会と連携した環境整備の活動にも積極的に参加するまでになりました。

また、平成21年度からは、佐波川水系奥河内川の清流に生息している水生生物である、「蛭」の繁殖に取り組む成果をあげています。



## ◆将来の展望

今後、この対策を発展させることにより、自治会と連携し更に地域の環境整備を推進していこうと考えています。また、景観づくりの一環として、農道に「アジサイ」と「桜の木」を継続的に植栽するほか、豊かな水資源を守るため、「蛭」の保護、繁殖にも力を入れ、「蛭の里」づくりを継続実施し四季折々に楽しめる環境保全活動を展開したいと思っています。

# 「共同活動で」未来へつなげよう

組織名 だいどう保全会

位置： 防府市大字切畑・台道 対象面積： 298 h a

## ◆ 地域の現状等

平成4年度より切畑地区から順次ほ場整備を実施し、整備面積は212haであり、更に現在南部地区35haにおいて事業採択、基本計画策定中である。地区内は二本の県河川抱え、長沢ため池を水源とする水田地帯である。



## ◆ 活動内容等

保全会の班編成を9支部に主に集落を中心として分けており、一部の地区では数集落にまたがる地区があり、農道と水路の維持管理を関係者のみで行っているが、他の全地区は自治会を始めとする各種団体と連携し、農道・水路の整備、環境の美化向上の活動を行っている。

又、ある地区では、桜並木の育成にも取り組んでいる。

## ◆ 効果

水路、道路等については、旧態の集落の慣行で保全整備を行ってきたが、自治会・子供会との協調により、地域内の公園の整備、国道、市道の草刈等の実施により、環境への意識の高揚につながっている。

又、各支部を年毎に順番で毎年1支部か2支部、支部内に花壇を設置育成をしており、地区民の関心が寄せられている。

## ◆ 将来の展望

地域内には、集落営農組織の形態で地域上げて、農業の生産力向上を図っているが、これが持続的な農業、農村の向上へとつなげていく中に、この農地・水・環境保全の事業にも取り組んでいきたい。未だ、地区住民のこの事業への関心度は薄い地区もあり、環境の向上は、誰しものが期待しているところであり、だいどう保全会として積極的な対応に努めたい。

# 豊かな大地を未来へつなごう

組織名 さのぜき保全会

位置： 一級河川佐波川河口右岸左岸 対象面積： 291 h a

## ◆ 地域の現状等

当地区は、昭和38年に完成した大道干拓、西浦干拓及び平成8年度から平成13年度まで実施した県営圃場整備事業、上田真鍋地区並びに西浦開作地区の農業振興地区であります。担い手育成型大規模農業を展開し、米・麦野菜等複合経営による効果的な農業を目指しています。



## ◆ 活動内容等

用排水路の泥上げ、農道の管理（交差点の舗装）。

パイプラインの点検、通水。

小学生による田植え、稲刈り体験学習。

小・中学生と農家非農家協力による生活排水路の泥上げ等。



## ◆ 効果

取組前は農家だけで農道や用排水路の管理をしていたが、保全会結成後は農家非農家や小・中学生が参加する活動が出来るようになり地域の一体化が出来たと思います。



## ◆ 将来の展望

今後とも少子高齢化が進んでいくものと考えられ自分たちの地域は自分たちで協同し助け合いながら生活していく土壌となっていくものと思います。





# 清らかな水・美しい里を次世代へ



とくさみどりほぜんかい  
組織名 徳佐水土里保全会

位置： 山口県北部

対象面積： 776ha

## ◆ 地域の現状等

徳佐水土里保全会は、山口市阿東徳佐地区を一円とする776haの整備された圃場を擁する。標高300m～350mの冬季は積雪する中山間地である。近年は高齢化が進み、農地や農業用施設の維持管理が農業収入の減少とともに厳しくなっている。

## ◆ 活動内容等

圃場整備後長期間経過し劣化した、水路、農道、ゲート、パイプライン、さらにため池等の改修、補修等を共同活動を通じて行っている。特に、阿武川の水質保全を目指し、水田からの濁水管理に力を入れており、営農活動支援にも取り組んでいる。

## ◆ 効果

今までは、徳佐地区には県営で行った圃場整備2地区、団体営事業での圃場整備5地区とがあり、施設の管理等で地区が分かれているような感があったが、保全会を徳佐一円で立ち上げた事で、計画策定、共同活動等徳佐全体、集落間等での話し合いが多くなり連帯が出来てきた。

## ◆ 将来の展望

さらなる高齢化が予測される中で、担い手の減少とあいまって共同活動をはじめとする保全活動力の低下が懸念される。担い手の出来る農政が要望される。



# 『守ろう農地未来の為に』

組織名 阿武川源流保全会



位置：山口市阿東嘉年 対象面積：287.6ha

## ◆地域の現状

高齢化、過疎化が進む地域の中、嘉年下地区、上地区、中地区の順番でほ場整備をしました。嘉年地区は、阿東地域の中でも最後にほ場整備をしたところで、現在中地区の工事完了から4年目となっています。

整備後、あまり年数がたっていないので整備地区内の補修等はあまり必要ありませんが、最初に整備した地区ほど傷みが進んでいるのが現状です。

## ◆活動内容

農地・水向上活動では農道の法面崩壊の補修・水路の目地詰め、改修等を共同作業で行い、農村環境向上活動では、非農家の方々にも参加を呼びかけ、チューリップの植付ひまわりの植栽等を毎年行っています。

また、嘉年ゆめ倶楽部でユウスゲの植栽やビオトープの清掃、管理をしています。



## ◆効果

点検することにより施設の現状を知ることができ、共同活動で自分たちで補修をする体制ができてきたように思います。

## ◆将来の展望

過疎化、高齢化がより深刻な嘉年においては、地域の農地を個人や集落の枠を超えて

『嘉年地域がひとつの家族』となれるよう昔ながらの“結”の精神で活動を続けて行きたいと思っています。



# 里山の自然を環境保全で継承しよう

組織名 しのぶせiryūhūkankiyōhōzenkai  
篠生清流環境保全会

位置： 山口県北部 阿東地区 対象面積： 198 ha

## ◆ 地域の現状等

当地区は山口県北部で標高250mの山間の高冷地で地域の中央に県立自然公園長門峡入口があり春は桜。夏は新緑と涼流。秋は紅葉。冬は雪景色。と四季を折りなす自然に年間を通じて溪谷を探索に訪れる観光客は35万人で憩いの里です。

平成14年に県営ほ場整備事業が完了しましたが、当地も高齢化で過疎化が進み深刻な課題です。又、山間の小さな集落では後期高齢者で、耕作放棄地が進み限界集落となっているのが現状です。

## ◆ 活動内容等

平成19年の発足した農地・水・環境保全向上対策に、地域の活性化、環境整備にも地域総力をあげて取り組んでいます。各集落委員がリーダーとなり、地区の農道の除草及び砂利を搬入し均平及び用排水路の泥砂の取り除き、目違の漏水防止には施行業者を招いて現地研修を開くなど、又、景観形成にも力を入れ、集落毎に紫陽花、ヒマワリ、ツツジ等の植栽、山口国体花いっぱい運動の推進看板設置など、自治会参加で美しい農村の田園と生活環境改善を進めています。

## ◆ 効果

発足後は環境保全は解るが、内容等は十分理解出来なくて、土連等の指導を得て、勉強し、理解を深め、集落にも徐々に浸透し協力を得られる様になり地域自治会全員参加で美しい環境を守る意識が出来たと確信しています。4年間が経過した現在、地域住民の協力により、農道凹凸は土砂の搬入により解消され、轍の道は草刈で幅員全体が使用でき、用排水路の漏水も継目の張こんで防止できた施工前と比較して雲泥の差が著しい、休耕田、空地等にも雑草に変わって花の植栽等生活環境、景観形成においても四季を通じて花が見られるようになり自然を調和した環境になったと自認しています。



## ◆ 将来の展望

高齢化と後継者不足に対処するには、農地・水・環境保全向上対策、向上活動支援を最大限活用しながら、地域の復興につとめ、自然とマッチした、美しい農村、里山を次の世代に継承するのが私達に課せられた使命ではないでしょうか。地域社会との話し合いの中で将来の環境を見つめれば、活路と将来への展望も見えて来ると思います。今後共、国の支援のもと地域皆さんと共に歩み活動を続けたいと思っています。

# 「集落の力」を未来へつなげよう！

組織名 いわやかんきょうほぜんかい  
岩屋環境保全会

位置：山口市小郡上郷

対象面積：3.2ha

## ◆ 地域の現状

当地域は、農地か開発かの狭間にある弱小の組織です。また、農業に取り組む年齢も高齢化が進み深刻な課題となっております。

このような状況のなかで、平成20年度から、農地・水・環境保全向上対策の制度を活用し、地域全体で活動に取り組んでおります。

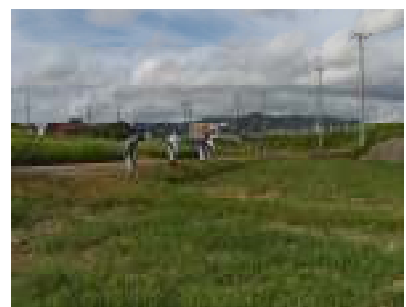
## ◆ 活動内容等

当組織の活動は、構成員である農業者、水利組合及び自治会が相互に連携をとりながら、農業に関する部分は主に農業者及び水利組合が、地域全体の環境保全の管理については自治会と一体となって取り組んでおります。



## ◆ 効果

当組織は、農地・水・環境保全向上対策の制度が始まって1年遅れの平成20年度から取り組み今年で3年が経過しましたが、当初は、遊休農地や荒廃した農地も存在していましたが、現在では、地域の環境保全に対する意識も徐々に高まり、本来の農地の姿を取り戻し制度の効果が得られております。



## ◆ 将来の展望

今後、農地・水・環境保全向上対策の制度が継続的に推進されることにより、地域農業の保全及び環境が維持していけるものと思っております。

# 集落の知恵と力が未来を拓く



組織名 ちふくかんきょうほぜんかい  
地福環境保全会

位置： 山口市阿東地福

対象面積： 374ha

## ◆ 地域の現状等

中山間地域であり、昭和57年度から平成13年度まで県営圃場整備事業を実施、年数がたち、施設もかなり老朽化し、高齢化、過疎化が進み、深刻な問題となりつつある。

## ◆ 活動内容等

地福地区一体で環境保全活動を計画し、集落単位で向上活動等共同活動を実施している。特に、景観形成に力を入れ、紫陽花、水仙、チューリップ、ヒマワリ、サツキ、ツツジを水路法面、農道法面に植栽。作業は、農業者、自治会が一体となり参加、活動している。



## ◆ 効果

破損施設の補修要望等があったが、細かい所までは、維持管理が行き届かなかった。取組後は、要望箇所について地福地区全体で話し合い、現地確認等行い、共同で実施する共同の力が生まれ、地域が活性化してきている。それに伴い、施設の長寿命化につながるきめ細やかな保全管理ができるようになった。



## ◆ 将来の展望

施設の長寿命化につながる保全管理の実施についてきめ細やかに実施していきたいので、この対策を発展的に展開していきたい。景観形成活動も、もっと範囲を増やして取り組んでいきたい。



# 農地・農業用水等の資源や環境の保全質的向上を図る

組織名 神原環境保全会

位置： 山口市徳地三谷一円 対象面積： 7.5ha

## ◆ 地域の現状等

農業者、非農業者合わせて14戸で構成されている中で、設立時、60才以下が6名いたが、今現在60才以下の者が2名となった。平均年齢70才位。これから先、農地の放棄等が増える状態となる。現状維持が難しい。

## ◆ 活動内容等

水路の補修、農道の整備



## ◆ 効果

共同作業などが進んでいる。

## ◆ 将来の展望

高齢化が進む中、農地の保全をどのようにするか問題の方が大きい。

# 安全作業・納得作業

組織名 上村環境保全会

位置： 山口市徳地上村

対象面積： 19 ha

## ◆ 地域の現状等

当地区は島地川ダム水域を持ち、水は豊富で米づくりには適した位置にある。しかし、ほ場整備の未完から農道の崩れは大きく農地の保全も難しくなっている。

## ◆ 活動内容等

19ha農地は沖田水利組合と富田水利組合の2つの農地関係者で保全管理されている。主に水路の清掃と関係農地の草刈等が仕事となる。保全会としては関係者からの要望、依頼をもとに検討を行ない、環境改善に取むようになっている。

## ◆ 効果

生活水路である長野水路に於いては竹林、樹木の伐採整備で水路管理が容易になった。また富田農道に於いては、法面のコンクリート化を進め、現在 80%完成であるが自動車、自転車、電動車でも楽に通れる道に変わっている。

一方、沖田水路に於いては堰板の4ヶ所の整備を行い長年の“水問題のトラブル解消”を図る事が出来た。

## ◆ 将来の展望

地域の環境保全が一番と思うが住民の関心が高まる事が大切、自治会と共同で環境づくりを進めたい。



# 棚田の環境を守ろう！

組織名 吉敷畑みどりを守る会

位置： 山口市北西端

対象面積： 18 ha

## ◆ 地域の現状等

県単独事業による農地の集積・農作業の受託化を進め、現在では主要穀物の基幹三作業は全て吉敷畑営農生産組合が行っている。他にホウレンソウやパセリ等の野菜も生産している。当地区は、市街地からは比較的近いものの、住民の高齢化や後継者不足は他の農村と同じ悩みとなっている。



## ◆ 活動内容等

農業施設の管理を徹底するとともに、農地法面の保全対策として芝の植栽を行っている。米栽培の減農薬化も一部で開始した。また、生産組織の法人化に向け研修や視察を行っている。



## ◆ 効果

農地の保全が環境の保全につながる事が再認識されるとともに、安全な食糧の生産に地区住民の目が向きはじめた。



## ◆ 将来の展望

「市街地には乏しい農地・田舎の環境」を保全することにより、若人や農業後継者の定住と地域の発展を図りたい。



# 秋穂地域に青と緑と・活力を！

組織名 くろかたのうちかんきょうほぜんかい  
黒潟農地環境保全会

位置： 山口市秋穂(最南端) 対象面積 118ha

## ◆ 地域の現状等

少子高齢化が年々進行している中で、秋穂地域の65才以上の高齢化率は、34%と高く、また、当保全会地域は0.4~0.7ポイント高くなっており、高齢者の殆どは認定農家等に委託されており、以前の農道及び水路などの共同作業の殆どは行われなくなっています。従って、用排水路等は荒廃し排水も極めて悪く麦作などの冬作が行われなくなり水稲以外の作物は特定の者による限定的な作付けとなっています。こうした、現状の打破のために、平成21年5月に黒潟農地環境保全会を立ち上げ今日に至っているところであります。

## ◆ 活動内容等

上記のようなことから、主として水路、農道の老朽化の補修作業と用水路の改善に保全会役員並びに地権者の協力の下で、取り組んでおります。また、当地は以前、「製油用菜種」の産地であったことから昨年から、環境保全の為に県道沿いに景観作物を取り入れた(菜の花)の栽培に取り組んでいるところであり、取り組みも浅いことから徐々にではありますが拡大したいと考えています。



## ◆ 効果

保全会役員並びに集落地権者若手？との絆が出来つつあり、共に共有する作業に参加する事の意義は大なるものがあると考えます。この事業に対し、徐々にではありますが評価は着実に上がっており、期待されます。

## ◆ 将来の展望

現在、本対策第一回は圃場整備事業を検討している最中であり、本事業で行う活動内容は現在は限定的とならざるを得ませんが当面は、有効活用しながら開水路の泥あげ、また補修、農道の砂利入れなどを通じ地域の一体感の醸成に努めたいと考えますし、景観作物を通じた心と人との繋がりを大切にしながら、圃場整備と本対策を併せ、両輪として行きたいものと考えております。

# 豊かな自然を守る！

組織名 蔵場を守る会

位置： 山口市徳地上村

対象面積： 20.3 ha

## ◆ 地域の現状等

当地区は平成 11 年に圃場整備が完了しました。

現在は高齢化が進み限界集落に近い状態になってきています。

## ◆ 活動内容等

「蔵場を守る会」は平成 21 年に発足他地区より 2 年遅れての参加です。

農家、非農家を問わず、地域全員で構成されています。

農地保全を主とするため集落内の農地管理や水路等の改修を実施しています。

## ◆ 効果

地域全体で環境を守るという意識が  
会員に少しずつ芽生えてきていると思います。

## ◆ 将来の展望

高齢化等によって増える放棄地を出さないよ  
うに維持管理するため会員同士の協力と努力  
が大切だと思います。



# 地域の農地と環境を守ろう！

組織名 植松・西浦保全会

位置：防府市西浦(開作東)植松一円 対象面積： 39.4 ha

## ◆ 地域の現状等

保全会は西浦・植松地区の2区域を一つの保全会として、昨年(平成22年)5月に農用地の改良を目的に発足したもので、現時点一年を経過していない状況である。

## ◆ 活動内容等

発足して間もないため、地域活動指針に基づいて2地区が連携しながら農村環境向上に活動しているところであり、特別紹介するものはない。

## ◆ 効果

発足後の日は浅いが改良すべき目標ができ、営農者の連携密度が高まっている。

## ◆ 将来の展望

本制度を活用しながら、農村環境を充実させて将来を担う後継者(若者)の育成に努めたい。





# 地域の団結、心の絆、広げようみんなの和

組織名 あそう のじりほぜんかい  
麻生・野尻保全会

位置： 山口市徳地岸見 対象面積： 16.24ha

## ◆ 地域の現状等

麻生・野尻地区は山口市の東南部に位置し、一級河川佐波川の豊かな水流に育まれた米作を中心とする純農村地帯です。当地区の農業従事者は兼業農家が多く、近年、高齢化が進み農地を耕作委託者に出す農家が年々増加しており、また、耕作放棄地も散在し、地域の有する景観が損なわれている状況が見受けられます。

このような状況を改善するため、平成23年6月に国の施策である「農地・水・環境保全向上対策」を利用して、農家、非農家を含め地域住民が一体となって活動する「麻生・野尻保全会」を設立し、地域の農地と環境の保全向上に取り組んだところです。

## ◆ 活動内容等

設立を受け、直ちに平成23年度の重点的実施事項を定め、地域住民の参加のもと、景観を損ねていた耕作放棄地及び水路法面の草刈り、一部の水路に繁茂している水草(葦)を除去するなど、農地・水向上活動を実施しました。また、景観形成として、空き地を利用してサルビア、ポーチョウカ等を2か所に植栽し、農村環境向上活動を実施しました。



## ◆ 効果

この事業を展開して数ヶ月しか経過していないなか、目に見えた効果としては、2か所に設置した「和の花壇」に、今を盛りと咲き誇る花を眺めて“綺麗な花壇になったね”と、住民が誇らしげに水や草取りを行い、環境保全に対する住民の意識向上に効果が得られております。

## ◆ 将来の展望

高齢化が進むなか、住民の地域環境の保全に対する意識は高く、積極的な参加が見込まれると思っています。今後、地域の皆さんにこの事業のことをもっと知っていただき、この地域の自然を守るため、また、農業用施設等の機能を維持するために、地域住民が一体となって活動に取り組んでいきたいと考えております。

## 「集落の英知を結集し、集落営農継続と農地の保全に取り組もう」

組織名 に ほ ほ ぜんかい 仁保保全会 たかはたけ し ぶ (高 畠 支部)

位置 山口市仁保 対象面積 田：2351a 畑：74a

### ◆地域の現状

当集落は、昭和62年に任意・営農改善組合を設立し、機械の共同利用・麦・大豆の共同栽培・共同作業と、転作のプロックローテーション化に取り組んできたが、農作物価格の低迷と高齢化の進行と相まって、このままの状況では、将来の集落内営農継続と農地の保全管理に深刻な影響を生じると不安が募った。平成17年より集落営農に取り組むべく、視察・研修等を繰り返す一方、組合員へのアンケートを実施し、平成18年より特定営農団体を設立して、経理の一元化と共同作業に取り組むとともに、平成19年より農地・水・環境保全対策制度等を有効活用し、農家・非農家が連携して、集落内農地・農道・水路・環境等保全等に取り組んでいます。

### ◆活動内容

特定営農団体が中心となり、4つの水利組合と連携し、農地・水向上活動と集落内環境保全に努め、集落営農の確立発展と農地・水・関係施設等の保全管理を通じて、組合員の共同利益の向上・増進を図るための活動を展開しています。



### ◆効果

昭和62年に機械の共同化と転作の共同作業を基本とした、営農組織を設立し活動に取り組み、その後、特定農業団体を設立し、各種制度を活用し、集落共同活動に積極的に取り組んだ結果、集落営農確立、農地・水・関係施設等を自らが守るため、若い後継者が共同作業、組織運営に積極的に参加するようになり、建設的な意見を述べ、将来、有望な集落となると思います。

### ◆将来の展望

今後、急速な高齢化が進む中で、集落営農を更に進め、農業法人を設立し、これまで以上に農地・水・関係施設の保全に努め、若い農業後継者を育て、継続的営農の確立と集落の活性化を図る活動に取り組んでまいります。

## 地域の環境は地域住民で守る

組織名 向上対策仁保 (高松支部)  
位置：山口市仁保下郷 対象面積：33ha



### ◆地域の現状

当地区は耕作面積 34ha、戸数 40 戸余りで、昔はほとんどが農家であった。しかし、近年では農業を営んでいるのは 21 戸にすぎない。農業をやめた家の田畑は担い手農家が預かったり、高松営農生産組合が全面的な受託作業を行うことで、耕作放棄地の発生を防いできた。これからも高齢化や米価の低迷で農業を辞める家が増えると思われるが、担い手農家も今以上の農地を預かることは無理であり、今後は営農生産組合を中心にした集落営農により、耕作放棄地の発生を防ぎ、農村環境を守る必要がある。

このため、現在、高松営農生産組合の法人化の協議を進めているところである。なお、当地区は平成 11 年度に県営圃場整備事業を完了し、平成 19 年度より本対策に取り組んできている。

### ◆活動内容

農道や水路の草刈、水路の泥上げ、農道への砂利の補充等の共同作業が中心で、その他、農用地、農道、水路等の施設の補修・改修が主な活動内容となっている。このほか、子供会花壇や農道路肩に草花を植栽したり、休耕田にヒマワリを植えて、環境美化にも努めている。

### ◆効果

以前は農道や水路の補修をしたいと思っても、資金がなく、何度も集会を開いて協議をしなければならなかった。それでも米価低迷の中、多額の資金拠出は言い出せなかったが、当対策が始まってからは、労力の提供のみをお願いすれば、施設の補修や改修がすぐ出来るようになり、非常に助かっている。

また、平成 21 年 7 月豪雨で、農道や水路がいたる所で被害を受けたが、当対策を活用して、ユンボやトラックを借りたり、砂利を購入したりして、関係者の共同作業によりすみやかに復旧できた。このほか、環境美化活動も盛んになった。今ではこの対策がみんなに認識されてきて、自発的に数名のグループで施設の補修作業を申し出て、資金の予算化を要請して来るようになった。

### ◆将来の展望

今や農業環境の厳しさから、就農者が減少し、「田園将に荒れんとす。」の状況下にあるが、これからは営農生産組合の法人化による集落営農を推進するとともに、本対策を有効活用することにより、このすばらしい農村環境を維持・保全して、次世代に受け継ぎたい。

特に本対策は、現在、地区住民の間に浸透してきており、農村環境の保全・向上にむけての様々な要望が寄せられてきているので、この対策を継続して取り組みたい。



# 『地域一体で夢ある農村づくり』

組織名 小鯖地区の農村環境を守る会

位置：山口市上小鯖・下小鯖一円 対象面積： 115ha

## ◆ 地域の現況

当地区は、平成7年度に上小鯖地区140ha、平成20年度に東鯖地区52haのほ場整備事業が完了しました。

平成21年7月の豪雨災害で、約30haの農地と水路・農道・ため池に多大な被害を受けましたが、災害復旧事業は順調に進んでおります。

平成19年度から、農地・水・環境保全向上対策に取組み、対象面積は115haで、さらに面積拡大を計画しております。

高齢化対策として、営農組織の法人化も推進しています。



## ◆ 活動内容

農業者が主体で、農地・水路・ため池・農道の施設管理をしていますが、今では、草刈り等非農家の参加が増えてきました。また、清掃活動、花いっぱい運動等には、自治会、子供会と一体の活動をしております。

## ◆ 効果

日曜日等に行う、草刈り等の共同活動に非農家の参加が増えてきました。本制度を活用して、水路・農道の保守管理が計画的にできました。営農活動に於いては、他地区の視察研修を、3年間実施したことにより、今後の営農活動、営農団体の運営に関して効果がありました。

## ◆ 将来の展望

山口市小鯖土地改良区及び地域住民と協力して、高齢者対策・耕作放棄地防止・農業振興・地域環境の美化保全に邁進します。

# 「ふれあいの心」を未来へつなげよう！

組織名 宮野大山路保全隊

位置： 山口市宮野大山路

対象面積： 11.6 h a

## ◆ 地域の現状等

平成12年度に団体圃場整備事業を完了した地域です。山口市内から、5～6kmと近く、又下流には住宅が多く、朝、夕には散歩をする人が大変多い所です。

## ◆ 活動内容等

大山路生産組合が土地改良区と連携して、農地・水・環境向上活動を実施しています。又全員で地域の環境、美化を守るため農村の環境向上活動を実施しています。



## ◆ 効果

この対策も5年目になりますが、初めの頃は散歩をしている人がコスモス畑に入ってコスモスを折って持ち帰っていたが、最近ではカメラで写真を撮って帰る人。環境の変化？人の変化？

## ◆ 将来の展望

この対策を更に発展的に展開していくこと、地域住民とふれあいながら楽しみながら活動して行きたいと思います。

# 活動により「農業の維持と景観づくり」をつづけよう

なかこいじかんきょうほぜん  
組織名 中恋路環境保全クラブ

位置：山口市宮野中恋路 対象面積：13ha

## \*地域の現状等

当地区は昔から専業農業が殆んどで30年前頃から、農業専用地域外に住宅が建つようになりました。しかしながら、米価の値下がり等により農業への意欲が薄れ、それに増し高齢化が進み、農業継続が深刻な問題となっています。そこで平成19年度よりこの対策に取り組み農家・非農家を含め連携を取りながら地域保全に取り組んでいます。

## \*活動内容等

地域の農業者を主体に非農業者と連携して農地・水向上活動を実施しています。また、地域の中央に流れる川で遊ぶ子供達と若手グループと一緒に地域環境美化を守るため、農村環境向上活動を実施しています。



## \*効果

農地・水・環境保全向上活動をしていくうち、少しずつ農業への理解が高まったのではないかと考えています。

## \*将来の展望

今後、この対策を継続していくことにより、農業への理解が深まり若い担い手が育ち、農業の継承になることを願っています。また、地域の環境保全の一環として実施しているコスモス・菜の花による景観づくりを継続して活動したいと思っています。



# 美しい水田を次世代へ

組織名 ひらのほぜんかい  
平野保全会

位置： 山口市平川 対象面積：20.35 ha

## ◆ 地域の現状

当地区は大正7年に耕地整理が行われ、地域では唯一、農振農用地が存在しており、主に稲作が中心の地区です。しかし近年高齢化が進み農業離れが進んでいますがその農地を営農組合が管理しています。

## ◆ 活動内容等

主な活動としては、3集落の住人で4つの溜池の堤防の草刈りや農家による水路の泥上げを定期的に行っています。又、毎年子供会、老人クラブ、会の役員が協力してチューリップの植え付けを行い、自治会では農道及び通学路のゴミ拾いも実施しています。

## ◆ 効果

本対策で、農道・水路の補修が進み利便性が確保されました。堤防・土手の草刈り、チューリップの植え付け、水路の泥上げ等共同作業を実施することにより集落間、農家と非農家など、世代を超えてコミュニケーションが図られる様になりました。又、子供達がチューリップの植え付けで地区の景観美化に関心を持つ様になったのではないかと思います。

## ◆ 将来の展望

本対策を実施することにより農地及び農業用設備を補修するとともに、環境美化の観点から「四季を通じて花のある地区にし、規模を拡大していきたい」と思っています。



# 「地域の発展」明日へつなげ！

組織名 二島地域保全会

位置：山口市秋穂二島 対象面積 299.8 h a

## ・地域の現状

当地域は、山口市南部に位置し7地区（上田・大里・二島・南・惣在所・禰宜・幸崎干拓）で構成され、一部地区では基盤整備を実施しているところです。

しかしながら、現在、高齢化等が進み遊休農地や水路の維持管理等が今後の深刻な問題であると考えています。そこで本体策を有効活用し地域一体となった保全対策に取り組んでいます。



## ・活動内容等

管内には、溜池が多くありその維持管理や各地区の水路等の管理に農家等が積極的に参加し活動しています。また、子供会や自治会により地域の環境・美化に努め農村環境向上活動を実施しています。



## ・効果

活動の幅が広く最初はどうかと思っていましたが、始まってみると子供会等による美化作業・自治会などの協力等多数の方々に参加していただき、うれしく思っています。また、地域全体で環境を守っていこうとする意識や農村環境への関心が高くなっているのではと思っています。本体策も5年目となり地域住民の環境に対する意識は向上し、子供たちの環境美化や水の大切さ等学ぶ効果は得られています。

## ・将来の展望

今後、この対策が発展する事により「多様な構成員同士の交流の場として組織が発展し地域が活性化していけばいいな」と思っています。今後も、本対策を活用し定期的な水路の泥上げや地域の環境保全を実施し地域住民と手を取りながら楽しく活動していきたいと思えます。



# 元 気 村

げんきむらふたじまひがし

組織名 元気村 二島東

位置： 山口市秋穂二島

対象面積： 78.1ha

## ◆ 地域の現状

本地区は、活動組織が将来に渡って活動を行っていく上で、組織の体制をより確固たるものにし、過疎化や高齢化の進展による担い手不足を解消し、祭りや伝統文化を維持している。

## ◆ 活動内容等

土地改良区、農事組合法人と連携し、農家、非農家を問わずに農道市道の草刈及び用排水路管理作業

自治会と子供会による地域の清掃活動

仁光寺クラブ及び幸田さつき会によるため池周辺の環境整備

子供会と幸田さつき会による景観作物の植栽

## ◆ 効果

非農家の人に草刈及び用排水路管理作業の参加をお願いしたら、苦情が出るのではないかと懸念していましたが、誰一人文句を言う人はなく積極的に参加されています。自分達の地域は自分達で守るという意識の高まりだと思います。また、地域内の若い者と年寄りとの連帯感が強まってきました。

## ◆ 将来の展望

女性の参画を積極的に

地域住民と他地域住民との交流を行い豊かな心を育む





# みんなで守ろう地域の資源

組織名 春日資源保全会

位置：山口市陶糸根・中河原・立石 対象面積：53.3ha

## 地域の現状

当地区は、未整備地区で土地改良施設の維持管理に多くの労力を費やしております。また、高齢化、後継者不足による担い手の確保が課題となります。そこで、平成19年度よりこの対策を取り入れ、農家、非農家、子供会及び自治会と連携をとりながら、地域の保全に取り組んでいます。

## 活動内容

畦畔・農地法面の草刈については、個々の所有者が行い、ため池及び道路・水路については、年2回農家・非農家が連携し実施している。また、農村環境向上活動として地域の景観形成を図るため農地を利用した景観作物の植栽、外来種の駆除及びホタルの生息する施設の管理を、子供会、自治会女性部と連携し実施している。



## 効果

当初は、多数の参加者があるのかと懸念されましたが、非農家、子供会及び自治会女性部も多数の方が参加しています。地域を守っていこうとする意識や農村環境への関心が高まってきた。

## 将来の展望

今後、この対策を更に発展させていくために、若い後継者及び自治会女性部・子供会に参画を促し、今迄の活動はもとよりそれ以上の活動計画を策定し、世代交代を図るとともに、本対策を有効活用していきたい。

# 「みんなの力」を未来につなげ

組織名 いちほぜんかい  
市保全会

位置： 山口市陶 対象面積： 18.0 h a

## ◆ 地域の現状等

当地区は、圃場整備事業を実施していない地域です。  
また、少子高齢化や若者の地区外流出により、過疎化が進み、地域の深刻な課題であると考えています。平成19年度より、この事業に取り組み有効に利用して、農家・非農家を含め水路等の草刈り、泥上げ、等を実施し、地域保全に取り組んでいます。

## ◆ 活動内容等

一町田水路、横概樋水路、大坪樋水路とため池1ヶ所の水系を主体に管理するなど、それぞれ連携して農地・水向上活動を実施しています。また自治会、高齢者、子供会が地域の環境、美化を守るため、農村環境向上活動を実施しています。

## ◆ 効果

最初に組合員に環境づくりの内容についてよく説明したところ、皆さんの意見により、  
1. (生活基盤整備) 2. (生活環境美化) 3. (道路環境美化) の3点で実施した。その結果、地域全体で環境を守っていかうとする意識が高まってきたのではないかと思います。  
「美しい環境は、美しい自然と水につながる」



## ◆ 将来の展望

今後この対策が発展的に継続していくことにより、未来を背負う若者達がこれからの農村や食の安心、安全についてより一層関心を持ってくれることを心から願っています。

# 美しい農村風景の維持

組織名 うつくしいごうかみ 美しい郷上かいをつくる会

位置：山口市陶郷上対象 面積：28ha

## ◆ 地域の現状

当地区は、段差のある小さな圃場が連なる未整備地域である。一方担い手としては高齢化が進み、農家の後継者難が深刻な課題となりつつある。そこで、平成19年度よりこの対策を有効に利用して、農家・自治会・子供会と連携を取りながら、地域保全に取り組んでおります。

## ◆ 活動内容等

11水利組合が4つのため池と百谷川水系を主体に管理、農地は個々の農家が管理しながら、それぞれ連携して農地・水向上活動を実施しています。また自治会、子供会が地域の環境・美化を守るため、農村環境向上活動を実施しています。

## ◆ 効果

この取り組みにより特に遊休農地（長期休耕田）の雑草管理の徹底が図られるようになり雑草の生い茂った遊休農地は少なくなった。また、地域住民の農村環境への関心が高まり、子供会も花壇づくり等地域活動に積極的に参加するようになった。

## ◆ 将来の展望

現代、農業に従事している人の構成年齢は70～80代が大部分であり、今後地域農業の維持管理が非常に危惧されますが、本対策を有効活用して遊休農地・農道・開水路等の定期的な維持管理を進めるとともに子供会による地域の環境保全の一環として花壇づくりを継続し、自治会全体として地域の環境保全を図っていきたい。





# 川西の郷土の力を結集し住みよい地域環境を

かわにしかんきょうほぜんかい

組織名 川西環境保全会

位置：山口市嘉川・江崎・深溝・佐山

対象面積：582ha

## ◆ 地域の現状等

当地区は樫野川の西岸で山から海までの山間から平野部につながる水系となっており中間を山陽新幹線・山陽本線・宇部線・国道2号線・国道190号線が通過し、農用地の水源と圃場の間に白地や用途区域があり、地域全体で水系の管理をしなければならない課題があります。そこで、平成19年度よりこの対策を有効活用し、川西地域全体を対象として水利組合や自治会と連携して地域の力を結集し環境保全に取り組んでいます。

## ◆ 活動内容

水利組合68組織・自治会54組織・老人クラブ4組織・子供会8組織が地域の水路、農道の管理やクリーンウォークや美化に取り組み、地域の環境向上活動と水路や農道の改修工事による農地の環境整備に取り組んでいます。



## ◆ 効果

19年度から実施しました。当初は事業の内容がなかなか理解出来なかったが、自治会等も次第に理解協力的になり子供会や老人会へと地区内の環境活動への輪が広がり、農業者と地域の住民との連携が拡大しました。また、水路・農道等も補修され地区住民の生活環境も段々整備されつつあります。水の停滞が改善され、水質浄化により、水路や河川の汚濁がなくなりメダカやイシガイやホタルの生息も多く見受けられるようになりました。



## ◆ 将来への展望

今後、高齢化社会が急速に進展することが予想されます。そこで、当事業の継続により後継者への世代交代が順調に行われると思慮されます。また、今日まで放置されてた吐水の水路等の改修により、水害の未然防止に繋がることを実施して行きたいと思っていますとともに、農道や水路の脇に彼岸花や水仙等の植え付けを推進し地域環境の整備を考えております。

# 「共同の力」 集落内の農地は集落で守ろう

組織名 和西の環境を守る会

位置： 山口市鑄銭司

対象面積： 21.9 ha

## ◆ 地域の現状等

当地区は山陽線四辻駅より北へ 1.5 km 離れた山間地で集落内耕作面積 29ha 平均年齢 63 才と高齢化が進み、深刻な課題となっている。このような現状の中で近隣 3 集落を含め、圃場整備の取り組みに向けた話し合いを進めている所です。当守る会では圃場整備を前提に 19 年度よりこの事業に取り組み有効に活用し農家・非農家を含め集落内の環境保全に取り組んでいます。



## ◆ 活動内容等

守る会とため池関係者が 3 つのため池と下流の川の清掃・草刈り・農道・水路等の整備を実施、営農組合で集落内の不作地など管理して連携し、農地・水・向上活動を実施、自治会、子供会、老人クラブで環境美化を守るため農村環境向上活動に取り組んでいます。

## ◆ 効果

この事業に参加するに当たり集落内全員の賛同を頂き農村環境整備への関心が集落住民一人々に広がり意識向上がはかれた。

## ◆ 将来の展望

今後この対策事業が継続することにより集落内のきずなをさらに深め環境を守っていききたい。現在圃場整備取り組みを進めており、近隣 3 集落の推進に当守る会として力を入れ、早期賛同がえられるよう協力していききたい。

# 農業維新の風「八方原」

組織名 やかたばら かんきょう まもるかい 八方原の環境を守る会

位置： 山口市小郡上郷 対象面積： 28ha

## ・地域の現状等

県内圃場整備事業の第一号が当地である。稲作が中心であるが、野菜づくり、花苗づくりなども行われている。用排水施設が建設後40年以上を経過しているため、傷みが多く、補修を行いながら運用している。実際の農地所有者は28人であるが、耕作従事できない所有者もある。平成22年3月に農業法人化を行い、地域の力を集約して農地の保全と安定した農業生産を目指している。

## ・活動内容等

役員体制は11人であるが、実質的には各営農班に均等に割り振るよう配置をしている。事業計画などは役員会で検討の上決定するが、作業は出来るだけ広範囲に呼びかけるようにしている。また作業の結果などを毎月発行する会報紙で紹介し、地域内全戸に状況を知らせるように努力している。



## ・効果

地域を守るという意識が顕著になって来た。共同作業への参加も活発になり話し合いも多くもたれるようになってきている。また率直な意見の交換が行われることが頻繁になり、意志の統一には若干時間を要するようになったが、けっして悪いことではないと考えている。

## ・将来の展望

担い手世代の交替が迫っており、一層の作業の効率化、集約化が求められている。生産面では、減農薬稲作生産、麦作への取り組みなど新しい試みが行われている。一方では農業に関して否定的なイメージが拭いきれない現状がある。経営的な改善も重要であるが、農業に対するイメージを一新するような活動に展開できればと考えている。



# みんなで守ろう美しい環境を

組織名 天田保全クラブ

位置： 山口市秋穂天田ほ場整備地内 対象面積： 89.5 h a

## ◆ 地域の現状等

本地域は温暖な瀬戸内型気候にあつて、大きな河川はなく、水の大半はため池に依存している地域である。農地の流動化と共に用水の有効利用を図るため、基盤整備に取り組み平成11年度に完了をみている。



## ◆ 活動内容等

自治会、老人クラブ、水利組合等、それぞれが連携して、地域の環境を守るための農地・水・向上活動を実施している。資源の長寿命化を図るため、荷痛みの激しい農道について簡易舗装を実施している。植栽や景観に配慮した作付け、施設の清掃等の活動を行っている。

## ◆ 効果

集落での話し合いの場が増え、地域を守っていかうとする意識が高まっている。地域がきれいになり、農業者以外の方とも交流ができるようになり、お互いの理解が深まった。

## ◆ 将来の展望

田んぼや水路などの地域資源を次の世代に引き継ぐために地域の住民が主体となって農地を守ることにより、将来にわたって有益な農業活動が出来るよう共同活動の推進を図りたい。地区の活性化に役立つよう、今後も農業者だけでなく地域住民が一丸となって取り組んでいきたい。

# 農地を守ろう

組織名 ひじがわかんきょうたいさくかい  
日地川環境対策会

位置： 山口市秋穂東（大海） 対象面積： 18ha

## ◆ 地域の現状等

当地域は平成2年築留地区2.1ha。平成5年山ノ川地区3.6haを単県で圃場整備をし、平成10年日地開作地区13haを団体営で圃場整備をした所である。

日地川排水流域は、自治会の赤崎・日地・金山会の3地区からなり、農業情勢や高齢化のため、農地は流動化現象となっている。

## ◆ 活動内容等

日地川水系の山ノ川、築留、日地開作の管理組合が農地を主体に管理し、農地水向上活動の実施により、自治会、老人クラブ、子供会等地域と連携をはかりながら、環境美化を行っている。

## ◆ 効果

最初は「役員の負担増」となると懸念されたが、実働隊は、それぞれの管理団体が行き、「対策会」が調整をはかって、有効的な作業を行っており、地域住民への理解と協力が得られている。



## ◆ 将来の展望

少子高齢化の現像の波は抑えられないが、この事業の有効的な活用により、優良農地の保全が守られる。

# きららパワーを未来につなごう

組織名 きららネット阿知須

位置： 山口市阿知須

対象面積： 342ha

## ◆ 地域の現状等

当地域は、瀬戸内に面し平坦な穏やかな丘陵地帯をなし、万年、江畑、黒谷各溜め池を水源とし水稲、麦作を主体とした二種兼業の営農体系です。生産基盤の整備は平成15年に完了しております。しかし現状は担い手、高齢化が進展し深刻な課題が山積みしております。平成19年度より地域の農地保全活動、美化活動などに地域ぐるみで取り組んでいます。

## ◆ 活動内容等

環境保全活動として、荒廃農地の再生、土地改良施設の保全、溜め池堤体、用排水路、荒廃した農道を重点整備。また、遊休農地を活用しコスモス、菜の花等植栽し地域の環境・美化により農村環境向上活動を実施しています。

## ◆ 効果

当初の農村地帯の実情は、荒廃農地の点在、河川は汚泥の堆積による汚水のよどみ等、地域の生活環境は疲弊の一途にありました。この事にあたり地域ぐるみで地域全体で環境を守る意識や農村環境への関心が高まっております。

荒廃農地の再生【1.5ha】溜池堤体整備【3箇所】農道整備（舗装）9箇所  
排水路汚泥撤去【17箇所】土地改良施設の長寿命化対策



## ◆ 将来の展望

今後、この事業を発展的に持続し四年間で培った環境に対する意識を将来にわたって農村環境を守り育てる事が求められています。活動組織として、水路の泥上げ、草刈り、植栽など農村環境の質を高める活動にも地域ぐるみで積極的に活動を継続しなければなりません。



# 地域住民のふれあいの場として活動展開！

組織名 船路西農地環境保全会

位置： 山口市徳地船路

対象面積： 41h a

## ◆ 地域の現状等

平成 19 年度より対策事業に取組み地域の営農組合、農業法人、自治会等と一緒に活動中。

## ◆ 活動内容等

営農組合、自治会で水路、農道を管理。

法人、保全会で農地の管理、環境美化等を実施。

## ◆ 効果

以前より中山間事業等の取り組みもありさほどの違いなし。



# 共同で守ろう豊穡の地を

組織名 西村保全会

位置： 山口市徳地 対象面積： 18ha

## ◆ 地域の現状等

昭和61年と平成13年に基盤整備事業で圃場整備を完了した地域です。高齢化が進み共有地の農道、水路や、周辺の維持管理等も、難しい状態になっておりました。平成19年よりこの対策を取り入れ、集落全体に呼びかけて取り組んでいます。

## ◆ 活動内容等

島地川水系を中心に、開水路、農道の維持管理し、集落の環境保全活動に取り組んでいます。

## ◆ 効果

対策導入前は、開水路・農道等自己管理が主となっていましたが、5ヵ年の活動を通して相互理解が深まり、共有部分の維持管理は共同活動で取り組む、と言う気運になって来ました。

## ◆ 将来の展望

年数が経つにしたがって、開水路も、農道も老朽化してくるので、これの共有部分の維持管理は、集落の年中行事に位置づけしたい。さらに環境保全活動をすすめる世代間交流を図りながら楽しい活動としたい。



# 安心して暮らせる地域づくり

組織名 沖ノ原地区環境保全会

位置 山口市徳地伊賀地 対象面積 18ha

## 1. 地域の現況等

当地区は、平成22年度に市営ほ場整備事業が完成した地域です。

しかしながら、現在高齢化・少子化が急激に進み、地域の深刻な課題であります。

そこで、対策として、平成19年度より沖ノ原地区営農組合を主メンバーとして、地区老人クラブ・非農家との連携・協調を図りながら、地域保全に取り組んできました。

## 2. 活動内容等

佐波川水系の堤防法面(内側)、及び地区内市道・農道・共有地の草刈りを定期的に行い、また尾蔵井出水系の水路・溝を年間を通じて管理保全を行っています。

また、井出堰水門や水系内の調整用水門の維持管理も合わせて行っています。



## 3. 効果

- ・取組前・・・高齢化に伴い、佐波川堤防治いの草刈りや農道の草刈りを何年も実施しない農家があり、地域として雑然とした感がありました。
- ・取組後・・・平成18年度から、地区内ほ場整備工事も始まり、地域内を見直そうという機運が出てきた。加えて、平成19年度より本件事業を取り組むこととなり、草刈り作業を主として若者も協力参加する人たちが増加しました。

## 4. 将来の展望

今後、地区内住民みんなの知恵と経験を生かしながら先進的な自治会として、安心して暮らせる地域づくりを全員の協力を得ながら築き上げて生きたいと考えています。





# 美しい花に水と人の輪

組織名 いかぢ保全隊

位置： 山口市徳地伊賀地 対象面積：27.7 h a

## ・地域の現状等

我々の組織は、未整備田圃場と5つの小集落で構成され、平均耕作面積約45 a / 戸程度の小規模農業者が主体の地域です。現在、高齢化と過疎化が進み地域の深刻な課題でもあります。そこで、19年度から活動組織を立ち上げ、対策を有効活用して農家及び非農家等との連携をとりながら、地域保全に取り組んでいます。

## ・活動内容等

2つの水利組合（尾蔵、落合）は、尾蔵堰水系と落合堰水系を独自に管理、農業者は各自の農地を管理し、5自治会と互いに連携して農地・水向上活動を実施しています。また、農村環境向上活動は、子供会も含めて地域の環境美化を図っています。

## ・効果

開始直後は、「うまく活動できるのだろうか?」と感じていましたが、農業者、自治会及び子供会の方々多数が参加しています。役員会での協議及び水路清掃や花壇への植栽・除草等の活動を通じ、徐々に各自治会の枠を超えた共通認識という和が出てきたように思います。また、従前に増して水路がきれいになったとの意見も聞かれ、住民の環境保全に対する意識は向上しており効果が得られています。



## ・将来の展望

この対策をこれから更に展開していくことにより、「将来の農村や食の安心・安全の基となる水と人の和について、世代を超えた各構成員同士の連帯意識がより醸成できれば」と思っています。このため、現施策を継続実施するとともに、構成員の今後の推移に応じた組織作り及び後継者の育成を図り活動していきたいと考えています。

